

山口県海外ビジネスサポートデスク 通信

12月号

マレーシア・クアラルンプール「サロマリンクブリッジ」

個別相談をお受けしております！

山口県内事業者の皆様、海外展開に関するお悩みがございましたら、ぜひお気軽にサポートデスクまでご相談ください！
現地の情報提供から販路の開拓など、幅広いサポートメニューをご用意しています。

【サポートデスクメニュー】

□海外展開に関する相談 □各種調査・情報提供 □セミナー開催 □販路開拓・商談サポート支援 □展示会出展支援

【山口県海外ビジネスサポートデスク利用状況】

2025年11月、1社の企業様に「山口県海外ビジネスサポートデスク」のサービスをご利用いただきました。

主な支援内容として、

- ・県内企業の海外展開に関する相談対応、コンサルティング、アドバイス、フォローアップ 1件
 - ・委託者及び県内企業からの各種情報（現地市場・経済情報・展示会情報・現地企業情報等）の照会に対する調査・情報提供 1件
- を実施いたしました。

下記にてご紹介いたします。

事例 1. メディカルサロン関係企業の海外展開支援

利用メニュー：県内企業の海外展開に関する相談対応、コンサルティング、アドバイス、フォローアップ

委託者及び県内企業からの各種情報（現地市場・経済情報・展示会情報・現地企業情報等）の照会に対する調査・情報提供

<背景・課題>

メディカルサロンを運営される企業様より、「シンガポール、台湾向けに日本でも未発売のティー製品を海外へ販売することを検討しており、まずは現地の関連情報や競合商品、規制などについて調査して欲しい」とのご希望をいただきました。

<対応>

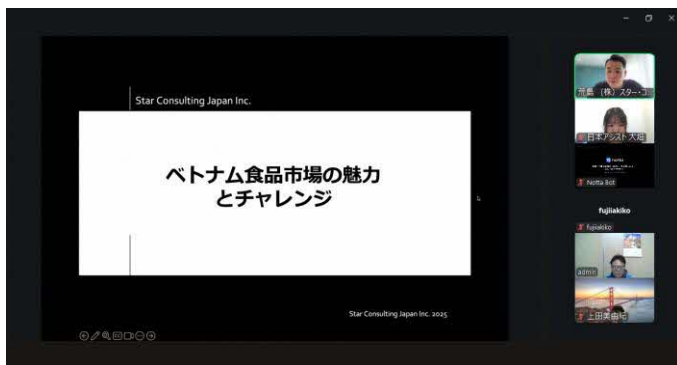
製品内容やご希望をヒアリングさせていただき、まずは現地の情報を知るところからということで、シンガポール・台湾の現地調査レポートを提出させていただいております。

【第2回 山口県海外ビジネスサポートデスク「海外展開支援セミナー」を実施しました】

- 開催日時：2025年11月21日 10:45~12:00
- 開催方法：ZOOM
- 参加対象：山口県内の中小企業
- 参加費：無料
- 講演対象地域：ベトナム
- 講演内容：「ベトナム食品市場の魅力とチャレンジ ～現地12年の視点から見る、販路開拓のリアル～」

講師には、“株式会社スターコンサルティング・ジャパン 代表取締役社長 荒島由也 様”をお迎えし、現地での12年にわたる豊富なご経験に基づき、ご講演いただきました。

当日は、「ベトナムの基本情報」をはじめ、「日本からベトナムへの輸出品目購入傾向／食習慣／小売市場／代表的なモダントレード／最新トレンド／商流・物流・商習慣／輸入の流れ／販路拡大における課題」など、実際の現場で得られた知見と荒島様ご自身のお考えを交えながら、幅広くかつ具体的な内容をお話しいただきました。



【様々なサポートメニュー】

現地情報の提供や現地調査の他にも、商談マッチング、商談同席、現地職員同行など様々なサポートデスクメニューがございます。

「こんなことをしてみたいが、こういうことはできるか？」など、まずはご相談からでもお気軽にお申し込みください！

<利用方法>

- 利用料：無料
- 利用方法：やまぐち産業振興財団への申し込みが必要です。
- その他：山口県海外ビジネスサポートデスクとの通信費や現地への渡航費、移動経費など、利用に付随して発生する経費は、ご利用者様ご自身での自己負担となります。

<申込み・問い合わせ先>

公益財団法人やまぐち産業振興財団 海外展開支援拠点
〒754-0041 山口市小郡令和一丁目1番1号 山口市産業交流拠点施設4階
TEL：083-902-3722 E-mail：jigyo@yipf.or.jp

(文責：株式会社日本アシスト 大畑 満帆)

現地からお届け！ 最旬情報 -マレーシア編-

最近のマレーシアのトレンド情報をお送りします！

キーワード 1：高市首相、外交デビュー

2025 年 10 月 26～28 日、マレーシア・クアラルンプールで ASEAN 首脳会議が開催されました。10 月 21 日に首相に就任したばかりの高市首相。就任からわずか 5 日間で外交デビューとなりました。

議長国マレーシアは「包摂（Inclusivity）と持続可能性（Sustainability）」をテーマに掲げ、域内の一体化と多様なパートナーシップ強化を訴えました。今回の会議では、東ティモールの正式加盟が承認され、ASEAN が 11 か国体制へと拡大したことも大きな節目となりました。

また、マレーシアは今回の議長国として ASEAN の中心性を世界に発信することに成功しました。今後地域経済のさらなる一体化や新興国市場の拡大は、物流・倉庫・販路戦略に新たな機会をもたらす可能性があります。一方で、ASEAN 地域では依然として地政学リスクや為替変動、政策変更などの不確実性も残っています。

こうした中で、日本の新政権が東南アジアを早期に訪問し、各国との信頼関係を構築しようとする姿勢は、ASEAN 地域で活動する日本人にとって大きな安心材料となるでしょう。在外邦人として高市首相の国際舞台での活躍と、日本・ASEAN の関係の発展を心から期待したいと思います。

キーワード 2：「LOVE&PEACE」マレーシアで進む日本カルチャー x エンタメ融合

11 月 15 日、マレーシア・クアラルンプールで日本の女子プロレスとアイドルを掛け合わせた異色イベント「LOVE & PEACE」が開催されました。

東京女子プロレスや DDT プロレスの人気選手が参戦し、AKB48 の姉妹グループ「KLP48」がライブを披露。国境を越えたコラボレーションが実現しました。仕掛人は DDT の高木氏と東京都議会議員の川松氏。お二人はかねてより都電荒川線車内で開催された「都電プロレス」など型破りなプロジェクトを手掛け、今回のマレーシア興行は 1 年越しの構想だったそう。

マレーシアでは、KLP48 が中心となってアイドル文化の裾野を広げつつあります。無料イベントにはすでに 3000 人近い観客が集まり、SNS でもファン層が急拡大。コスプレやアニメに続く次の日本カルチャーとして、プロレスとアイドルが融合した新たなコンテンツが注目されています。

クアラルンプールの街を歩いていると、KLP48 の広告やイベント告知が増え、若者の間で日本式ポップカルチャーへの関心が高まっているのを感じます。今回の「LOVE & PEACE」は、単なる一夜のイベントにとどまらず、マレーシアにおける“日系エンタメ文化の発火点”となるかもしれません。

キーワード 3：シンガポール在住日本人が見る、マレーシアの“次なる成長圏”

マレーシアとシンガポール両政府が今年新たに合意した「ジョホール・シンガポール経済特区（JS-SEZ）」が、ここシンガポールでも大きな話題となっています。これはマレーシアのすぐ北、マレーシア・ジョホール州南部を中心に両国が経済特区を設け、企業誘致やインフラ整備を進めるというもの。

この構想の背景には、シンガポールにおける急速な発展が生んだ飽和があります。シンガポールは東京 23 区ほどの狭い国土でありながら世界中から投資が集中し、土地・人件費・オフィス賃料が高騰。「市場としては魅力的だが、コスト面で参入しづらい」という日本企業からの声も少なくありません。そこで注目されているのがシンガポール中心部から車で 40 分ほどの距離にある

マレーシア・ジョホールバル。ここに製造や物流、デジタル関連など 11 分野を対象とした新しい経済特区を設け、シンガポールの拡張機能として発展させる構想です。

マレーシア側では、法人税の優遇やビザ要件の緩和も検討されています。地価や人件費はシンガポールの 3 分の 1 ほどで、研究開発やデータセンターなどを置くには十分なスペースとコストメリットがある。日本企業にとっては、「シンガポール本社 x ジョホールバル拠点のハイブリッド運営」という選択肢の現実味が帯びてきました。実際私の周囲でも物流企業や製造系のスタートアップがジョホールバルでの倉庫確保を検討し始めています。

現地ではすでに週末になると、たくさんのシンガポールナンバーの車が橋を渡り、ジョホールバル側のショッピングモールが賑わいを見せています。日常生活の一体化が進む中、経済面でも両国が一つの経済圏として動き始めている印象です。

シンガポール在住者として日々感じることは、都市国家シンガポールが成熟期に入りつつある一方で、対岸のジョホールバルには「次の成長の熱」が漂っているということ。ASEAN のダイナミズムを間近に見ながら、日本企業がどのタイミングで、どのようにしてこの流れに乗るのか、これが 2026 年に向けた大きな注目点となりそうです。

(文責 : NIHON ASSIST SINGAPORE PTE LTD / 関 泰二)